

8 文化遺産の継承

重要な史跡などの文化遺産を保存整備するとともに、地域の歴史や文化の証である文化財を積極的に活用するほか、地域に根ざした特色のある伝統文化を保存・継承する。

令和4年度の主な取り組み・実績

(1) 文化財の指定等

- ・「鍋島灯台」が国による重要文化財に指定
- ・風流踊（綾子踊・滝宮の念仏踊）がユネスコ無形文化遺産保護条約「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に登録
- ・「三所神社本殿」など2件、「松賀屋主屋」など3件、「丸岡家住宅主屋」など8件、「漆原家住宅主屋」など8件、「妙法寺山門（勅使門）1件が登録有形文化財建造物に登録

(2) 文化財の管理及び保存整備

- ・ 国・県指定文化財の保存修理等事業として、民間所有及び市町所有の文化財に対し補助を実施（民間所有12件、市町所有7件）
- ・ 国指定重要文化財建造物の防火施設点検等維持管理事業への補助を実施（4件）
- ・ 県指定無形民俗文化財の後継者育成等事業への補助を実施（9件）
- ・ 市町が行う文化財説明板の設置事業への補助を実施（1件）
- ・ 市町への支援策として、専門研修会を実施（4回）

(3) 文化財の活用

- ・ 文化財保存活用地域計画策定支援（1件、策定完了：小豆島町）
- ・ 個別の文化財保存活用計画の作成を支援（完成2件：史跡大野原古墳群、名勝満濃池、策定中5件：史跡津田古墳群・富田茶臼山古墳、史跡紫雲出山遺跡、引田城跡、琴平町の大センダン、石清尾山古墳群）
- ・ 讃岐国府跡の内容や規模などを明らかにする発掘調査や、ボランティアの協力を得て地元のイベントに合わせて現地説明会を開催するなどの普及活動を実施するとともに、埋蔵文化財センターが所蔵する考古資料を活用したテーマ展を開催

(4) 埋蔵文化財の調査

- ・ 国道バイパスや県道の建設等に伴って、県内の遺跡について発掘調査を実施（6遺跡：沖遺跡、樋ノ口遺跡、中山遺跡、中山北遺跡、岡遠田遺跡、岡遠田南遺跡）
- ・ 過年度に発掘調査を行った県内の遺跡について資料整理を実施（8遺跡：上道池東遺跡、池内古田遺跡、池内御所原遺跡、内間遺跡、沖遺跡、沖南遺跡、森広遺跡、西村遺跡）
- ・ 地域総合研究調査事業の対象となっている直島町と協働し、分布調査等を実施するとともに、町などが所蔵する出土品についての資料整理を実施

《 関連する主な事業 》

文化財保存・管理事業、指定文化財緊急保存修理・活用事業、埋蔵文化財発掘調査事業、讃岐国府跡調査事業、地域総合調査研究事業、世界遺産登録推進事業

「みんなで作るせとうち田園都市・香川」実現計画に掲げている指標の現状と評価

指標	単位	教育基本計画 策定時(R2)	R4 年度 実績	評価	R7 年度 目標
国県指定の文化財数[累計]	件	14 (H28～R2 年度)	2	C	15
文化財の保存活用計画と文化財保存活用地域計画の作成件数[累計]	件	1	7	A	12

評価・課題

- 指定・登録文化財は、長年の懸案であった県内の風流踊2件（綾子踊、滝宮の念仏踊）がユネスコ無形文化遺産へ登録され、古い伝統を残す県内の無形民俗文化財の価値が改めて注目されたほか、坂出市の「鍋島灯台」が重要文化財に指定されるなど、順調に指定・登録件数が増加している。
- 9月27日に発生した国宝「神谷神社」の落雷による火災では、電気設備の損傷により毎年点検を実施していたにも関わらず、防災設備が機能しない事態が生じた。今後、落雷対策が必要になるが、災害は突然発生することから、日頃の防災設備の点検は非常に重要である。所有者の負担となる毎年の設備点検に要する経費については、所有者の要望に対して十分な補助金が措置できておらず、所有者の負担軽減が今後の課題として残る。
- 文化財は、定期的に修理を行うことによって保存継承を図る必要があるが、大規模な建造物の修理など多額の経費が必要となる事業については、所有者の要望に対して十分に補助金が措置できていない。
- 文化財保存活用地域計画の策定は、小豆島町が完了しているのみである。国や県の補助を受けて実施している文化財の保存修理の成果を具体的な地域づくりに活かすため、市町に対して、部局を越えた連携や、文化財保存活用地域計画の策定を促す必要がある。

今後の展開

- 文化財の指定については、目標を達成できるよう指定候補物件の調査等を引き続き行う。
- 防災設備の点検等、文化財の維持管理に係る経費が文化財所有者への経済的負担となっていることに対して、適切な補助を行うことができるよう、調整に努める。
- 文化財の保存修理や活用に係る事業が、各市町において計画的、効果的に行うことができるよう、法定計画である保存活用計画や保存活用地域計画の策定を各市町に促すとともに、地域づくりに貢献する取組みとして位置づけられるよう、市町内での連携を促す。
- 引き続き、讃岐国府跡の実態を解明する発掘調査を継続するとともに、地域総合研究調査事業の新たな対象地域へ展開していく。